

第 16 章

インドの経済地理統計データ

熊谷 聡

キーワード：

インド 経済 地理 データ

1. 地理的区分

インドの行政区画は、第 1 レベルで 35（28 州＋ 6 連邦直轄領＋ 1 首都圏）に分割される。これらは、第 2 レベルでは、さらに 640 の県（District）に分割される（2011 年 2 月時点）。第 3 レベルとしては、都市部自治体および農村部自治体が存在する。

2000 年以降の州レベルでの変更は、以下の通りである。

Bihar 州→Bihar 州と Jharkhand 州に分割（2000 年）

Utter Pradesh 州→Utter Pradesh 州と Uttaranchal 州に分割（2000 年）

Madhya Pradesh 州→Madhya Pradesh 州/Chhattisgarh 州に分割（2000 年）

これにより、州の数は 25 州から 3 州増加し 28 州となった。県レベルでは、2001 年の 593 県から 2011 年には 640 県に増加している（付録を参照）。

GSM では、インドについては県レベルの地理的区分を採用し、分析を行っている。GSM では 577 県をデータセットに組み込んでいる。インド・中国・パキスタンの間で国境紛争がある Jammu and Kashmir 州については、データがないため州全体を分析対象から除外している。

表1 インドの行政区画と GSM 内の行政区画の対応

GSM 2001 2011				GSM 2001 2011				GSM 2001 2011			
Andaman & Nicobar	2	2	3	Haryana	19	19	21	Orissa	30	30	30
Andhra Pradesh	23	23	23	Himachal Pradesh	12	12	12	Pondicherry	4	4	4
Arunachal Pradesh	11	13	16	Jharkhand	22	18	24	Punjab	17	17	20
Assam	23	23	27	Karnataka	27	27	30	Rajasthan	32	32	33
Bihar	37	37	38	Kerala	14	14	14	Sikkim	4	4	4
Chandigarh	1	1	1	Lakshadweep	1	1	1	Tamil Nadu	30	30	32
Chhattisgarh	16	16	18	Madhya Pradesh	48	45	50	Tripura	4	4	4
Dadra & Nagar Haveli	1	1	1	Maharashtra	35	35	35	Uttar Pradesh	70	70	71
Daman & Diu	2	2	2	Manipur	9	9	9	Uttaranchal(Uttarakhand)	13	13	13
Delhi	1	9	9	Meghalaya	7	7	7	West Bengal	19	18	19
Goa	2	2	2	Mizoram	8	8	8	Jammu & Kashmir	-	14	22
Gujarat	25	25	26	Nagaland	8	8	11	合計	577	593	640

(出所) Census of India 2011: Administrative Atlas of India より筆者作成。

2. 産業分類

インドの産業分類は、National Industrial Classification (NIC) として定められている。NIC は数年おきに改定され、直近の改定は 2004 年 (NIC-2004) である。NIC-2004 は ISIC rev3.1 と 4 桁レベルまで整合性がある。

3. 人口センサス

インドの人口センサスは 10 年ごとに行われており、直近では 2011 年、その前は 2001 年に行われている。このセンサスでは、県の下位にある、町(town)や村(village)単位での人口を知ることが出来る。また、県のレベルでは人口以外に、都市・農村別人口、性別人口、年齢別人口、識字率、労働者数などが公表されており、Census of India のウェブサイトからデータを入手できる。

4. 地域別・産業別 GDP 入手可能性

4.1 国レベル

インドの GDP は、国レベルでは、以下のような産業部門別で発表されている。

表2 インドの国レベルでの産業別 GDP の分類

1.1 Agriculture	7.1 Railways
1.2 Forestry & logging	7.2 Transport by other means
1.3 Fishing	7.3 Storage
2. Mining & quarrying	7.4 Communication
3. Manufacturing	8.1 Banking&Insurance
4. Electricity, gas & water supply	8.2 Real estate, ownership of
5. Construction,	9.1 Public administration&defense
6.1 Trade	9.2 Other services
6.2 Hotel & restaurants	

(出所) MOSPI ウェブサイト

統計・計画実施省 (Ministry of Statistics and Programme Implementation: MOSPI) ウェブサイトなどで公開されている国レベルでの産業別 GDP は、manufacturing が 1 部門になっているため、GSM のデータとしてそのまま使用することはできない。

manufacturing については、Annual Survey of Industry(ASI)を国レベルで集計したものが、MOSPI ホームページ等で公表されている。これには、4 桁の NIC 別に、工場数や雇用者数、算出高、純付加価値などが含まれる。同様に、農業やサービス業についてもサーベイの結果があるため、これを上記の部門別 GDP と組み合わせることにより、国レベルでの産業別 GDP のデータを、より細かい分類で得ることが出来る。

4.2 州レベル

州 (state) レベルの GDP は MOSPI のホームページからダウンロードできる。これは、"State Domestic Product"として部門別でも発表されており、部門は国レベルの部門とほぼ同様である。やはり、manufacturing が 1 セクター (registered, unregistered に分かれている) となっているので、GSM 用のデータとしては部門数が不足している。州別かつ産業別の GRDP のデータはないため、ASI を州別に集計したものなどを用いて、manufacturing の分割を行う必要がある。

4.3 県レベル

県 (district) レベルの GDP は、政府機関からは公表されていない。一方で、民間の研究所である Indicus Analytics Pvt. Ltd. (以下、Indicus) が推計し、2001/2 年度から 2011/12 年度まで時系列で公表している。最も詳しいもので 12 部門に分かれているが、やはり manufacturing は 1 部門となっており、ASI を県別に集計したものなどで案分する必要がある。

ある。また、Indicus は manufacturing を約 60 部門に分割した”Industrial Skyline of India”を作成しているが、これは 2008/9 年度のみ入手可能となっている。

5. 経済地理データ作成の手順と課題

現時点で、インドの経済地理データを県レベルで作成するには、Indicus が作成している県別 GDP を利用する必要がある。さらに、manufacturing を分割するには、ASI の個票データを県別に集計したものを用いる方法が考えられる。

ただし、ASI を県別に集計する場合いくつかの欠損データに関する問題が発生する。まず、ASI2005/06 では、州レベルでは、Sikkim と Arunachal Pradesh、Mizoram、Lakshadweep、についてのデータが欠損している。また、県レベルでのデータの欠損は数多くある。したがって、ASI のみを手がかりにして、県レベルの manufacturing を案分することはできない。また、ASI では県は県番号によって識別されるが、この番号は、県の増減によってアドホックに振り直される。センサスが行われた年の県番号は公表されているが、それ以外は、MOSPI に問い合わせて当該年度の県番号を確認する必要がある。

Indicus は様々な統計を用いて、県レベルの産業別生産額や雇用者数を推計している。これを、manufacturing の案分に用いることができる。ただし、”Industrial Skyline of India”は 2008/09 のみ推計されているため、これを用いるとすれば、2005/6 および 2010/11 のデータを別途推計する必要がある。

インドの場合、他の国と異なり、GSM で必要となる地理区分のデータについて、公的機関から入手できる情報からのみでは案分などの操作で作成することが出来ない。したがって、Indicus のような民間機関が推計したデータを用いるか、複数の公的なデータソースを組み合わせ、独自に推計を行う必要がある。

6. 関連統計ソース

Census of India ウェブサイト (<http://censusindia.gov.in/>, 2012 年 2 月 23 日アクセス)

Government of India, 2011. *Census of India 2011: Administrative Atlas of India*.

Indicus Analytics ウェブサイト (<http://www.indicus.net/>, 2012 年 2 月 23 日アクセス)

Ministry of Statistics and Programme Implementation ウェブサイト

(<http://mospi.nic.in/>, 2012 年 2 月 23 日アクセス)

付録

表3 2000年以降の県レベルでの行政区画変更一覧

州	新設された県	元の県	年
Jammu & Kashmir	Kishtwar	Doda	NA
	Samba	Jammu & Kathua	NA
	Reasi	Udhampur	2007
	Ramban	Doda & Udhampur	NA
	Bandipore	Baramula	NA
	Kulgam	Anantnag	NA
	Ganderbal	Srinagar	NA
	Shupiyan	Pulwama	NA
Punjab	Tarn Taran	Amritsar	2006
	Barnala	Sangrur	NA
	Sahibzada Ajit Singh Nagar(Mohali)	Rupnagar & Patiala	2006
Haryana	Mewat	Gurgaon	2005
	Palwal	Faridabad	2008
Rajasthan	Pratapgarh	Chittaurgarh, Udaipur & Banswara	2008
Uttar Pradesh	Kanshiram Nagar	Etah	2008
Bihar	Arwal	Jehanabad	NA
Arunachal Pradesh	Kurung Kumey	Lower Subansiri	2001
	Lower Dibang Valley	Dibang Valley	2001
	Anjaw	Lohit	2004
Nagaland	Peren	Kohima	NA
	Kiphire	Tuensang	NA
	Longleng	Tuensang	NA
Assam	Chirang	Kokrajhar, Bongaigaon & Barpeta	2004
	Baksa	Barpeta, Kamrup & Nalbari	2003
	Kamrup Metropolitan	Kamrup	2003
	Udalguri	Darrang & Sonitpur	2004

West Bengal	Purba Medinipur	Medinipur* (Paschim Medinipur)	2004
Jharkhand	Latehar	Palamu	2001
	Ramgarh	Hazaribagh	2007
	Jamtara	Dumka	2001
	Khunti	Ranchi	2007
	Simdega	Gumla	2001
	Saraikela-Kharsawan	Paschim singhbhum	2001
Chhattisgarh	Narayanpur	Bastar	2007
	Bijapur	Dantewada* (Dakshin Bastar Dantewada)	2007
Madhya Pradesh	Ashoknagar	Guna	NA
	Anuppur	Shahdol	2003
	Burhanpur	East Nimar	2003
	Alirajpur	Jhabua	2008
	Singrauli	Sidhi	2008
Gujarat	Tapi	Surat	2007
Karnataka	Ramanagara	Bangalore Rural	2007
	Chikkaballapura	Kolar	2007
	Yadgir	Gulbarga	2010
Tamil Nadu	Krishnagiri	Dharampuri	2004
	Tiruppur	Erode & Coimbatore	2008
A & N Islands	South Andaman	Andaman* (North & Middle Andaman)	2006

(出所) Census of India 2011: Administrative Atlas of India 等から作成

(注) *は括弧内から名称変更